

♪平成24年4月～7月のできごと

ソーリダーの
毎日 **ໄມໂມໄມ** (ムオイムオイ)
ㇿ

平成24年 8月 第1号

チュムリアップスオ♪みなさん、こんにちは。三原市立西小学校の田中涼子です。私はこのたび、青年海外協力隊として、約2年間カンボジアの学校で活動する機会をいただきました。このお便りを通して、広島（日本）とカンボジアのみなさんに小さなつながりができると嬉しいです。これから、カンボジアのいろいろなことを紹介していきたいと思います。

まず、お便りのタイトルについて説明すると、「ソーリダー」とは、4月～6月の2か月間を過ごした訓練所で、先生が私につけてくれたカンボジアでの名前です。「ムオイムオイ」とはカンボジアの言葉・クメール語で、「ひとつずつ、少しずつ、ゆっくり」という意味です。一日一日を大切に過ごし、少しずつ成長できたらいいなという意味を込めています。

派遣前訓練

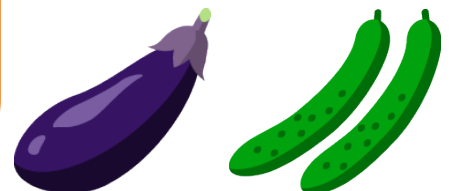


私は、4月11日から6月14日までの約2か月間、福島県二本松市にある青年海外協力隊二本松訓練所で、訓練を受けていました。内容は主に、カンボジアで話されているクメール語の勉強、それから国際理解や健康、安全に関する授業などです。試験や宿題もあり、朝から晩までたくさん学びました。

久しぶりに学ぶ側の立場になり、分かった時のうれしい気持ちや、分からないときの辛い気持ちを味わいました。でもやっぱり新しいことを学ぶのは面白い！

所外活動では、農家を訪れました。きゅうりやなすなどの野菜を育てている農家で農作業のお手伝いをさせていただきました。農作業は、本当に重労働！大変でした。スーパーに行けば、当たり前のように並んでいる野菜ですが、それまでにたくさんの手間と労力がかかっているのです。でも、昨年起きた震災や事故の影響で野菜があまり売れなくなってしまったそうです。私たちにも、何かできることはないかと考えさせられました。

そんな大変な状況の中でも、毎日を明るく過ごし、海外へと旅立っていく私たちを応援してくださった福島のみなさん。みなさんの温かい思いを忘れず、任国で頑張ろうと心に決めました。



カンボジアってどんな国？



カンボジアは面積・約18万km²、人口・約1480万人の小さな国です。日本からカンボジアはそんなに遠くありませんが、飛行機の直行便がないため、途中で飛行機を乗り換える必要があります。私たちはバンコク（タイ）で一度飛行機を乗り換えて、6月28日に、カンボジアの首都・プノンペンに到着しました。日本との時差は2時間。カンボジアのほうが日本より2時間遅いです。

到着から約1か月間は現地語学訓練として、毎日学校へ通いました。そして語学訓練のまとめとして、5日間スバイリエンという州でホームステイをしました。その様子を紹介します。

かわいい家族たち♪

驚いたのは、どの家にもたくさんの動物がいること。水牛、牛、豚、ニワトリ、アヒル、犬、猫。この7種類がどの家にもいます。水牛は畑で働く労働力！あとは食用ですが、もちろん犬や猫はペットです。

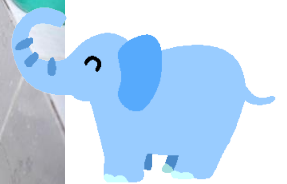


おひさまと一緒に。

生活リズムは、全てが日本より少し早いです。夜8時に寝て、朝は4時に起きます。電気はありますが、不安定。そのため夕日が沈んだら寝て、朝日が昇るころ起きます。美しい朝焼け！

これも楽しみのひとつ☆

電気の代わりにろうそくの火、シャワーの代わりに雨水で水浴び。最初は驚きだらけだった生活ですが、慣れてくると面白い。洗濯もちろん手洗いです。ゴシゴシ！



心はつながる！

一番の目的だったクメール語の実践ですが、最初はなかなか通じなくて苦労しました。でも話していくうちに少しずつ分かるようになってきました。語学力もちろん大事ですが、相手を理解しようとする気持ちが何より大事だと思いました。根気よく私の相手をしてくれたホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

そして私は、7月25日に、首都プノンペンから移動をし、今後、約2年間活動するクラチェという町に赴任しました。クラチェとはどんな町なのでしょう？それは、次号で紹介します。